



インターネットでの情報提供	
提供予定日	5月15日

平成22年5月14日 県政記者クラブ配布			
担当課	担当	担当者	電話番号
商工労働部商工政策課	新産業・新エネルギー担当	三輪 康典	直通058-272-8354 内線3088

次世代エネルギーパーク(花フェスタ記念公園)がオープンします (取材依頼)

県では、今後最も成長が期待されるエネルギー・環境分野における新たな産業創出を目指した取り組みを進めております。その一環として、次世代エネルギーの有用性を県民の皆様にご体験していただくため、昨年8月に経済産業省の認定を受けた「次世代エネルギーパーク」の公共施設モデルとして、太陽光発電や燃料電池、電気自動車等の設備を花フェスタ記念公園に整備し、一般公開することとなりましたので、お知らせします。

同省の認定による「次世代エネルギーパーク」は全国に25件あり、本県での設置は初めてとなります。

記

1 オープニングセレモニーについて

- (1)日 時 平成22年5月19日(水) 13:30~14:00
- (2)会 場 花フェスタ記念公園(花のミュージアム ホール)
可児市瀬田1584-1
- (3)出席者等 岐阜県知事 古田 肇 ふるた はじめ
<来賓>(予定)
可児市長 山田 豊 やまだ ゆたか
中部経済産業局長 宮川 正 みやがわ ただし
地元県議会議員
- (4)内 容 知事あいさつ、来賓あいさつ、テープカット、施設見学
- (5)そ の 他 オープニングに併せ、企業による展示会(5月19~20日)を開催します。
<出展企業>(順不同)
・三洋電機株式会社(太陽光パネル)
・新日本石油株式会社(燃料電池)
・NTTファシリティーズ東海(制御、蓄電システム)
・中部三菱自動車販売株式会社(電気自動車)
・ゼロスポーツ株式会社(改造電気自動車)/各務原市
・サンアッド株式会社(壁面緑化用資材)/瑞穂市
- セレモニー、展示会は、一般来園者にもご覧いただけます。(公園への入場料は必要です。)

2 次世代エネルギーパーク(花フェスタ記念公園)の概要(資料1)

(1)設備の特徴

複数のエネルギー資源や新しい技術を組み合わせる「ベストミックス」という考え方のもと、「太陽光発電」と「燃料電池」によって電気と熱を供給し、余った電気を「蓄電池」で安定化させ、「電気自動車」に供給するというモデルを構築。

(2) 設置する設備

- ・西ゲート付近
燃料電池(1.5kW)
- ・バラのテーマガーデンの回廊屋根に太陽光発電設備(10kW)(右写真)
- ・花のミュージアム周辺
電気自動車充電器、各エネルギー設備の余剰電力の電力貯蔵システム、各エネルギー設備の発電状況を示すディスプレイ



(3) エネルギーの活用

- ・電気エネルギー：花のミュージアムのLED照明、電気自動車用充電器、トンネルギャラリーのライトアップ等に供給。系統電力に極力依存しない電気エネルギー需給を実証。
- ・燃料電池の廃熱エネルギー：西ゲート付近に新たに設けた「足湯」(定員5名程度)に供給。(右イメージ図)

(4) 設備の説明等の実施

「花のミュージアム」内に、次世代エネルギーや新規技術を説明するディスプレイや、クイズなどを通じて次世代エネルギーについて気軽に学べるパソコンシステムなどを設置。



3 今後の取り組み予定

(1) 「次世代エネルギーパーク」等を活用したモデルツアーの企画実施

夏休みには、「次世代エネルギーパーク」と、「三洋ソーラーパーク」などの新エネルギー関連施設、更には既存の観光資源も組み合わせた「親子バスツアー」の実施を予定。

(2) 「次世代エネルギーインフラ」の拡大

- ・次世代エネルギーパークの「商業施設モデル」として、今年6月を目途に、東海北陸自動車道ひるがの高原SA(上り線)隣接の「クックラひるがの」に、太陽光発電、燃料電池、電力貯蔵システムを設置。
- ・今年度中に、県内のハウスメーカーと連携した「家庭モデル」、JR岐阜駅アクティブGを中心とした「都市モデル」、小水力発電や木質ストーブを加えた「中山間地」モデルへ取り組みを拡大。

4 その他

「次世代エネルギーパーク」について

経済産業省(資源エネルギー庁)は、新エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーについて、実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じ、国民の理解を深めるため、太陽光等の次世代エネルギー設備や体験施設等を整備した「次世代エネルギーパーク」を推進。

地方自治体等を対象に、計画を公募・認定・公表し、PR等を行っており、平成22年4月1日現在、全国で25件の施設を認定。